

対象年度	平成31年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート							
事務事業名	地球温暖化対策事業（環境教育）						予算事業名	地球温暖化対策事業費						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	環境基本法・地球温暖化対策の推進に関する法律					
			04	01	06	2001	経常経費							
総合計画体系	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり（都市・環境）						事業の区分	主要事業						
	2-6地球環境にやさしいまちづくり（環境保全・排水処理）							生活環境課						
	②地球温暖化対策の強化						担当課係等	環境保全係						
事業期間	継続（平成27年度～平成33年度）													
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
地球温暖化をはじめ、地球規模の環境問題から大気・水・土など地域の生活に密着した環境問題の改善を図るための基本となる環境基本計画に基づき、自発的な環境の保全及び創造に関する活動を行う意欲が増進されるようにする。						環境問題が騒がれる中、環境の保全に関する活動を行う意欲が増進するよう環境基本法第25条等に基づき、教育や学習を振興させるため。								
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】						【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】								
環境講座を実施する。						市民								
						【事業をとりまく環境の変化】								
						小学生のうちから環境教育を推進し、環境保全の意識を高める必要がある。								
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】						
環境講座の実施				環境講座の実施				環境講座の実施						

■事業費

		H29年度	H30年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	26	38			
歳入計（千円）		26	38			
歳出内訳	節（番号＋名称）		金額（千円）	金額（千円）		
	08	報償費	24	36		
	11	需用費	2	2		
歳出計（千円）（A）		26	38			
伸び率（％）			46.15			
備考	総合計画 90ページ 予算書 106ページ					

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	講座実施件数	件	目標	3.00	3.00	3.00
	市民に対して環境講座を実施し環境保全や地球環境について教育を行う		実績	2.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	参加人数	人	目標	100.00	100.00	100.00
	昆虫についての環境講座		実績	47.00	0.00	0.00
	参加人数	人	目標	10.00	10.00	10.00
	地球温暖化防止対策講座 初級編		実績	40.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	市民ニーズは確認していないが、一般的にはニーズが高いと思われる。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	行政がやるべきかはどちらともいえない。
	手段の妥当性	A 妥当である	この方法が一般的であり、問題はない。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	現在の手法でのコスト効率は高いが、事業全体から考えると、どちらとも言えない。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	限られた市民になり、事業全体から考えると、どちらとも言えない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	生物多様性から地球温暖化防止対策まで、幅広い講座を実施できた。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	市民に最新の環境情報を提供し、環境意識の向上の一助となっている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
環境基本法第25条では環境保全に関する教育・学習は、国の具体的施策であったが、地球温暖化防止について世界的な枠組みである、パリ協定をきっかけに、日本においても、温室効果ガス削減に向けて、強固な取り組みが必要になってくる。そのために、環境教育は益々重要になってきている。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
環境教育は、小さい時から行うことが、重要であることから、小中学校の児童生徒を対象とし、教育委員会や子ども福祉課と連携して、環境講座を実施していきたい。			

■方向性

<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画）</p> <p>講座の企画にあたり、対象者を明確にし、その対象者にとって興味のあるテーマを選択することで、参加者の満足度と理解を深める。</p>
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了 <input type="checkbox"/> 予定どおりの要求 <input type="checkbox"/> 一部改善の上要求 <input type="checkbox"/> 今回は見送り <input type="checkbox"/> その他の処置</p> <p>企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）</p> <p>上記評価のとおり。</p>